

# 青少年育成委員会 事業計画

委員長 中川 剛

現代の子ども達は、生活環境の変化、教育環境の変化から他人とのコミュニケーションを取ることが苦手になり、人とのふれあいの中で育める思いやりが希薄になるなどの状況が生じています。それにともない、「規範意識」や「思いあう心」が薄れ、利己主義的発想が増長しており人としての「美」と考えられてきた日本人独特の情溢れる社会が失いつつあります。これは、将来を担う責任世代として取り組まなければならない課題と考えます。

まずは、茨城県発祥のオセロを用いて、「第10回 いばらきちびっ子オセロキャラバン in つくば」を開催し、大会前後の練習を積み重ねることにより、身近な人達とのコミュニケーションを増やします。そして、オセロの試合を通して子ども達が互いに競い合う中で生まれる競争心を育みます。さらに、対戦者同士が勝ち負けだけという結果にとらわれないように挨拶の大切さを伝え、礼儀作法を学び相手を思いやる心を醸成します。また、自然体験型の事業を開催し、つくばが持つ豊かな自然環境の中での集団行動を通じて協調性を育み、仲間意識を高めることにより友情を構築します。家族や他人と共同作業を通じて目的を達成することにより、自信につながり自己肯定感を高めます。さらに、体を動かし五感に触れての感動と喜びを共有できるプログラムを提供いたします。そして、事業を通して互いを助けあう心を醸成し、子ども達が生活する全ての環境にプラスの効果をもたらします。また、私たちが行う事業をより広く効果的に展開するためにも、会員拡大の協力を努め、地域において必要とされる団体として原動力となるJAYCEEを増やします。

子ども達が、人とのふれあいの中で思いやりを持ち、自分自身の役割を理解して何ができるかを考え、「規範意識」が醸成されます。そして、それらは古来より続いた日本人独特の美であり、失うことなく次代へと紡ぎ、子ども達は明るい未来へ歩みを進めていきます。

## 〔事業計画〕

1. 青少年育成事業の開催
2. 第10回 いばらきちびっ子オセロキャラバン in つくばの開催
3. 会員拡大